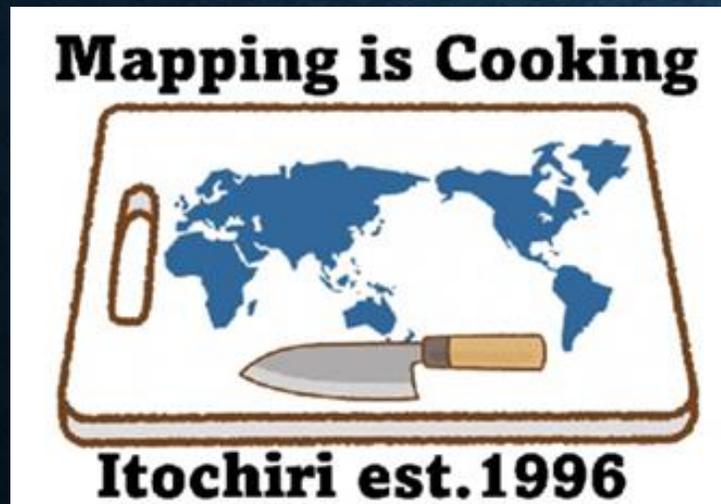


高等学校「地理総合」における通年型 「地域調査」実践の試み

「地図の調理実習」の定着に向けて



2024.8.25 日本地理教育学会
伊藤 智章
(静岡県立富士東高等学校)

報告の概要

- 1 問題意識
- 2 実践の概要
- 3 課題と展望
- 4 結語



1 問題意識

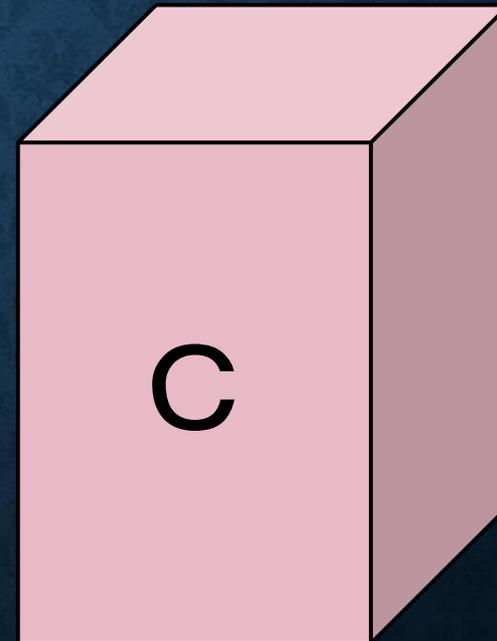
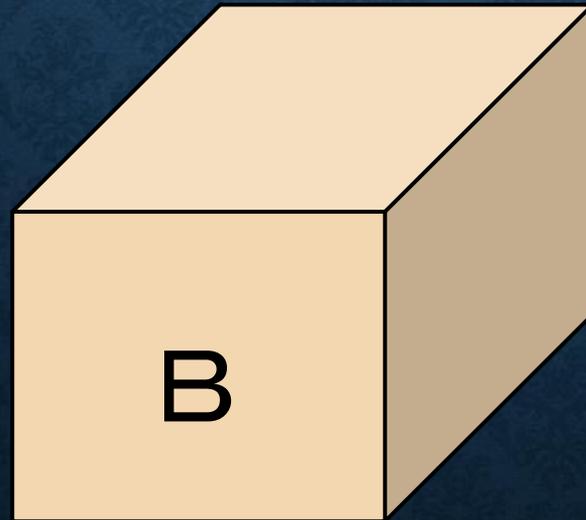
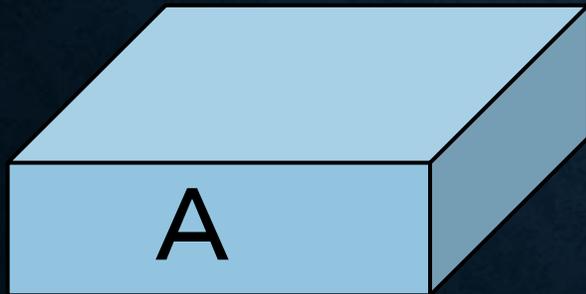


高等学校「地理総合」 運用上の限界

持続可能な地域づくりと私たち

国際理解と国際協力

地図や地理情報システム
で捉える現代世界

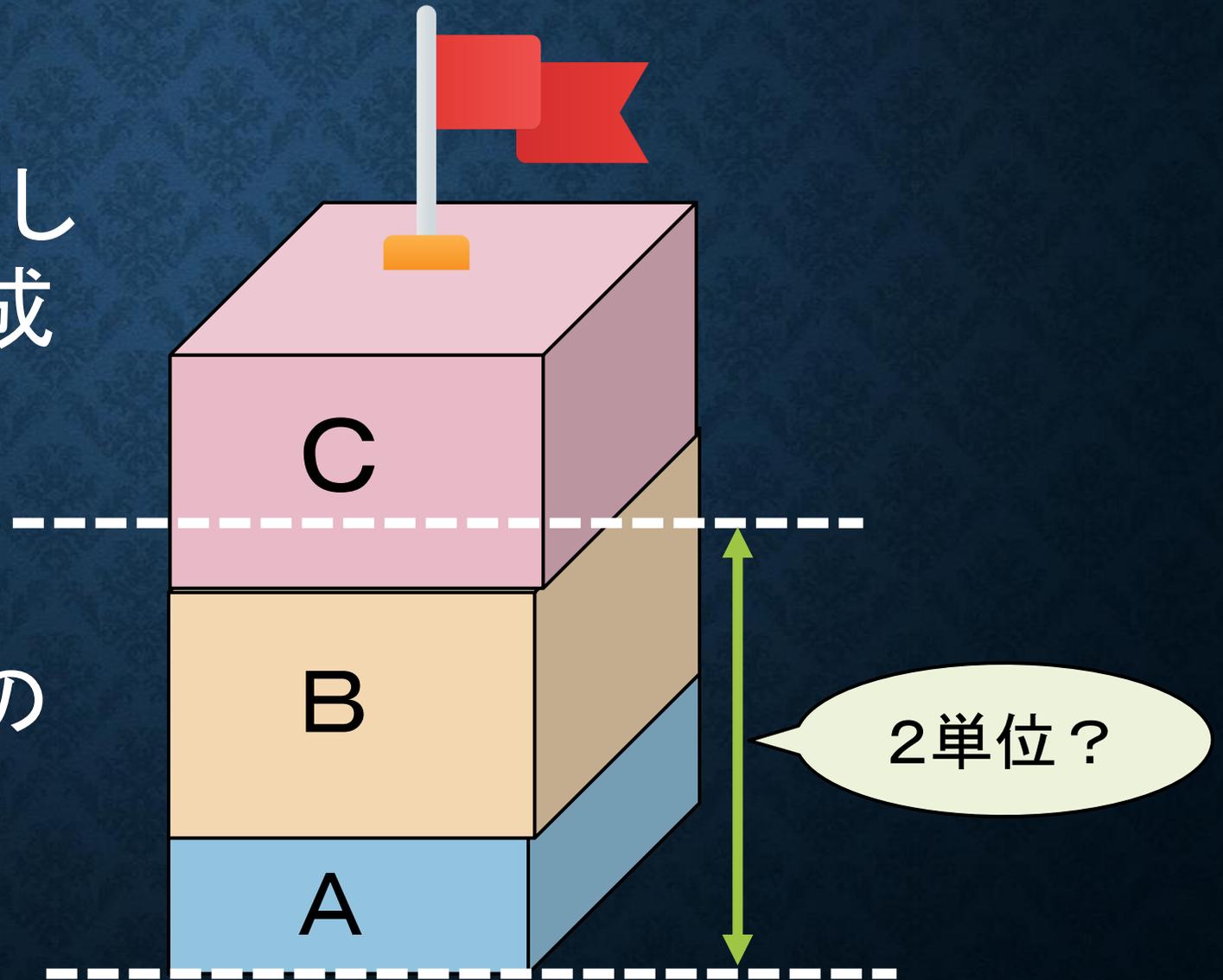


「C単元」の位置づけと重要性

A単元・B単元で学習した知識・技能の集大成



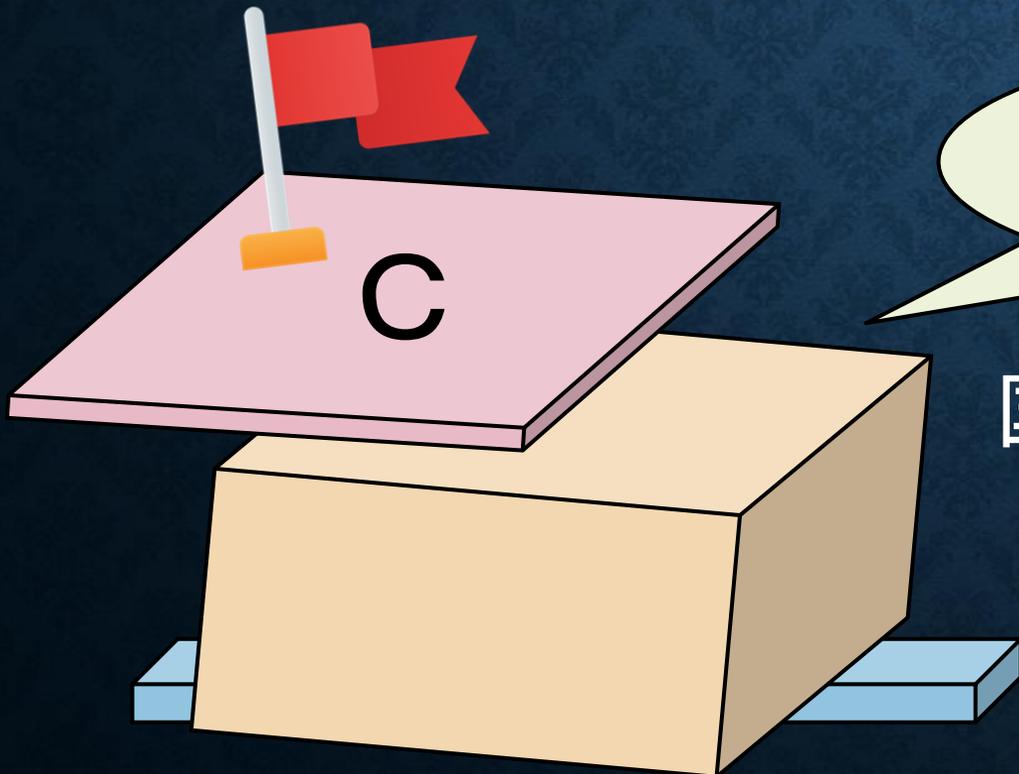
C単元での学習・発表を念頭に入れたA・B単元の構成が必要



実際は？

基本的に「防災学習」
地域調査は形だけ

持続可能な地域づくりと私たち



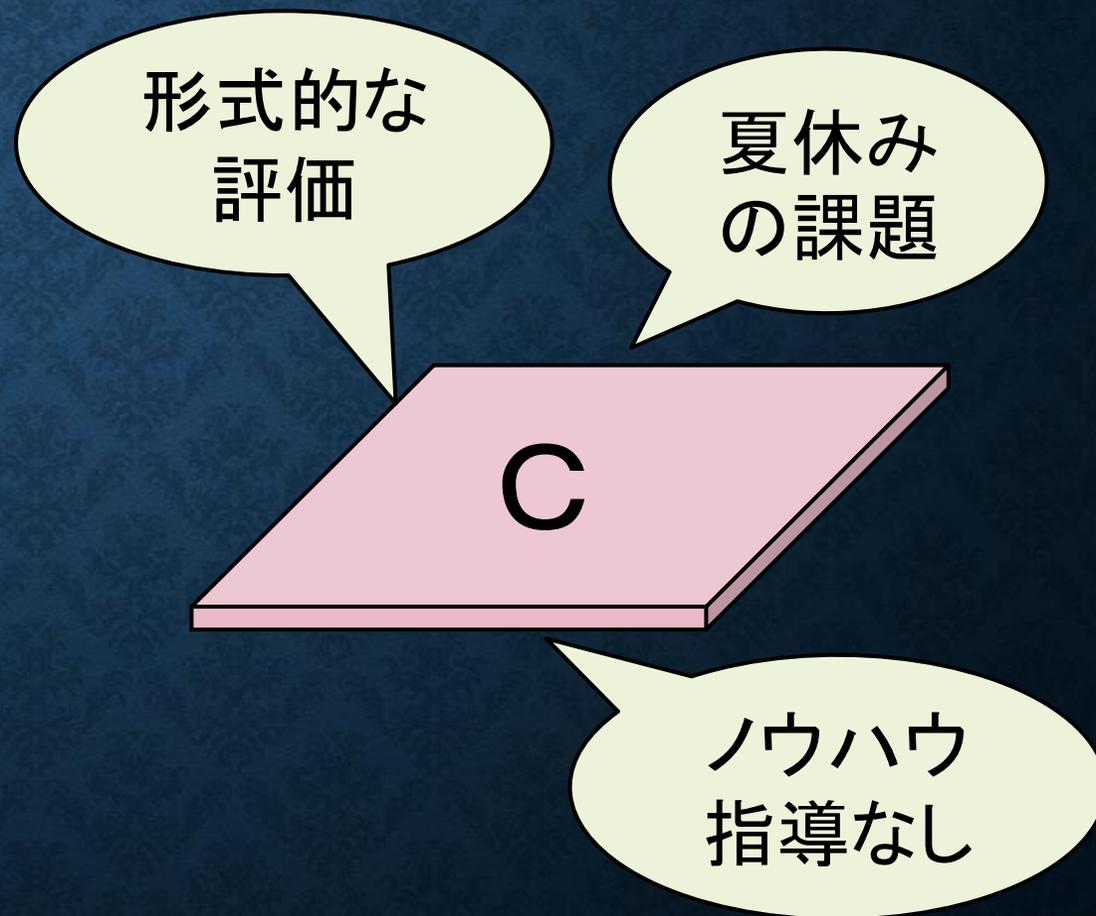
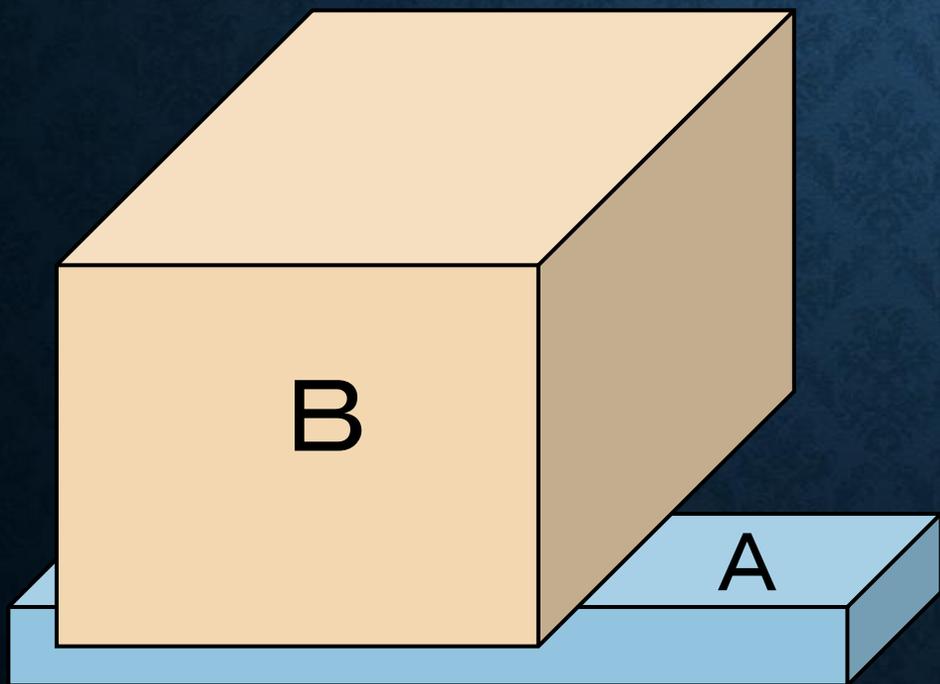
指導要領外の内容
(ほぼ旧地理A/B)

国際理解と国際協力

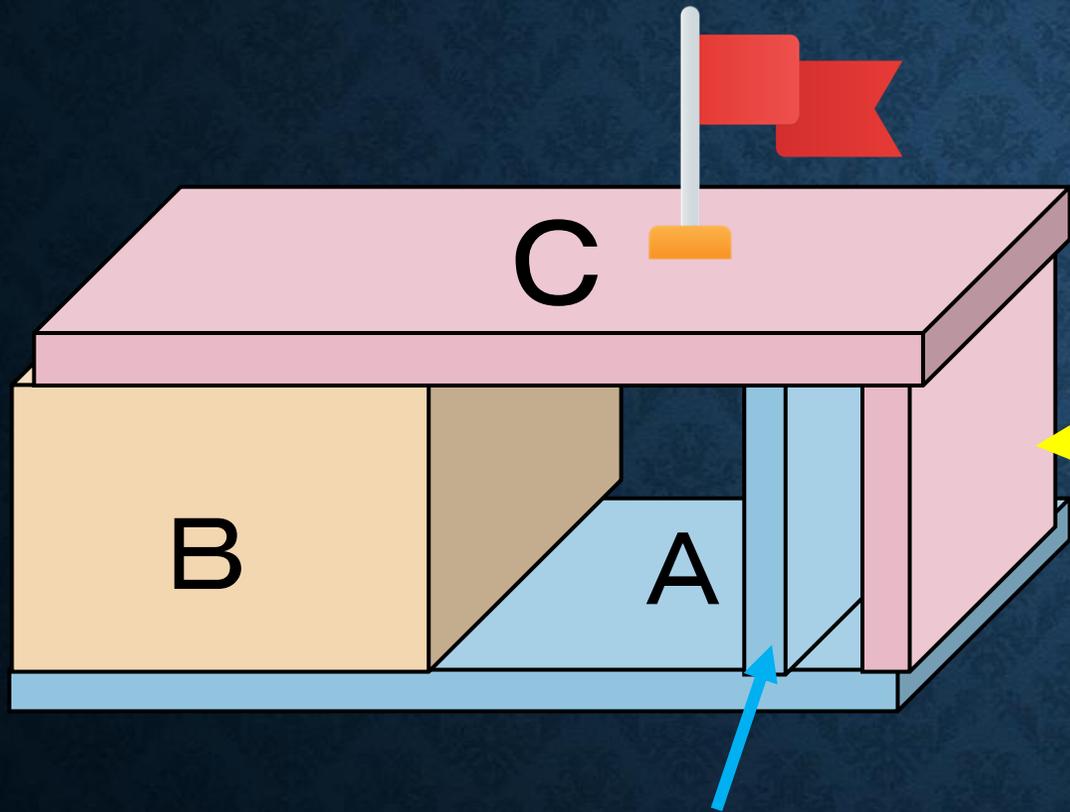
地図や地理情報システム
で捉える現代世界

紹介と
体験

実際は？

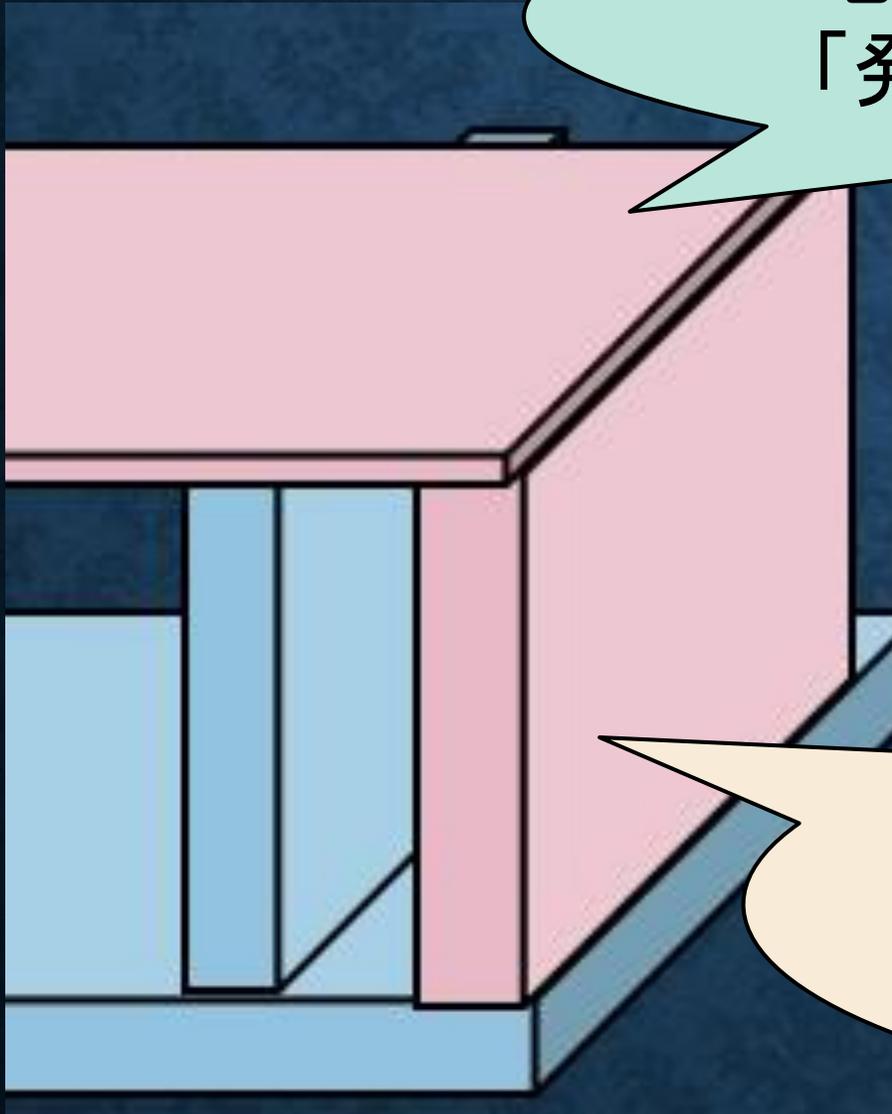


こうしてみたらどうでしょう？



通年型“ミニ地域調査”
(今回の試み)

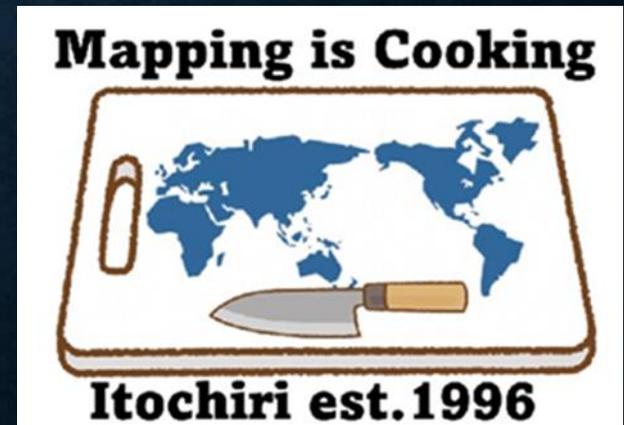
通年型“ミニGIS実習”
(伊藤:2024)

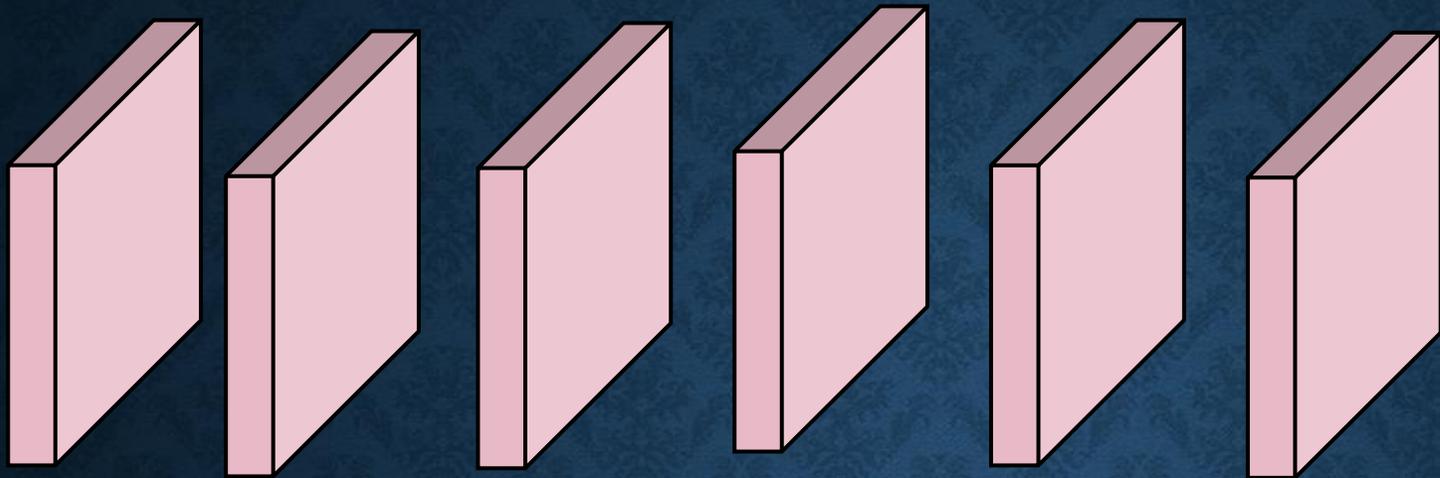


地域学習の集大成としての
「発表」(限られた時間で効率的に)

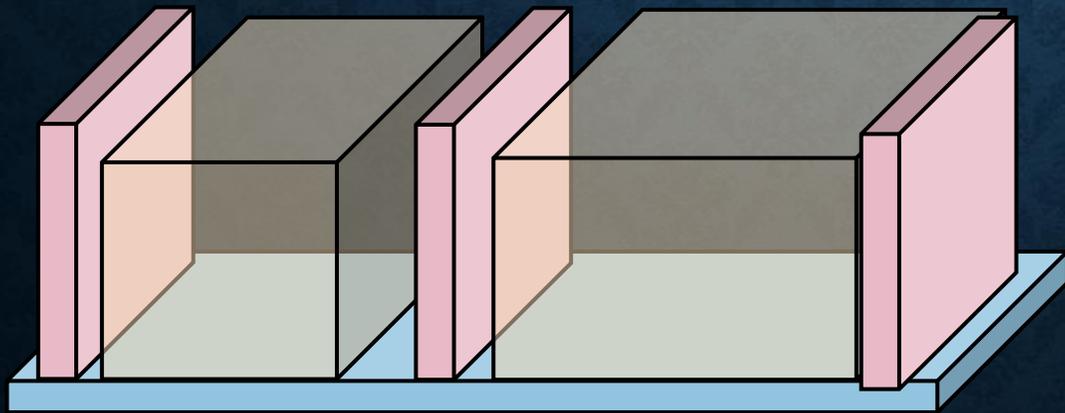
課題をこなして
スキルアップする過程を評価
(三観点)

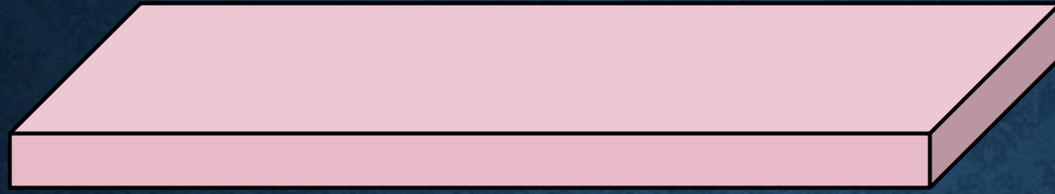
2 実践の概要





单品(3時間完結) × 6本
学期に3回(当初・定期考査明け)



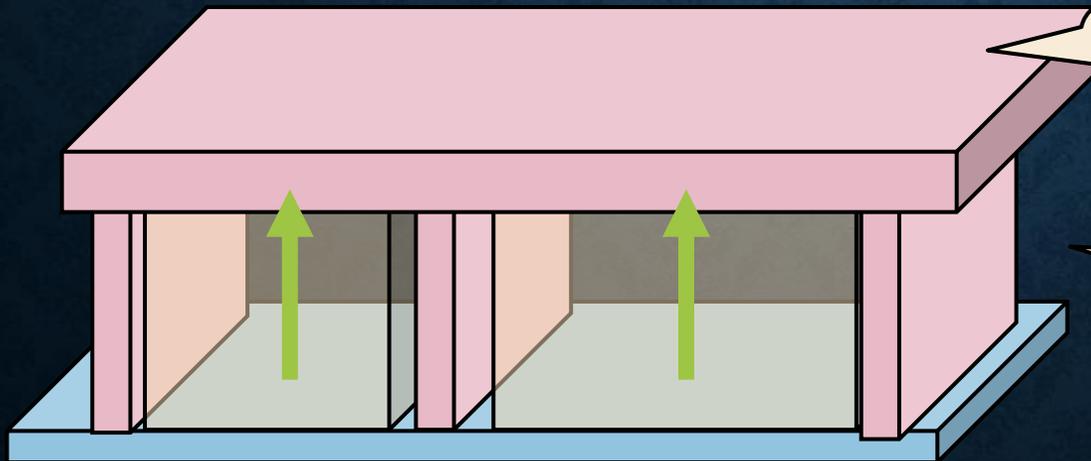


フルコース(課題研究)

準備3時間/発表2時間?

個人? グループ?

学習内容の反映





単品の調理実習



景観写真のサラダロール



ちらし地図



単品の調理実習



マップ・ピクルス



照り焼き

など



景観写真のサラダロール

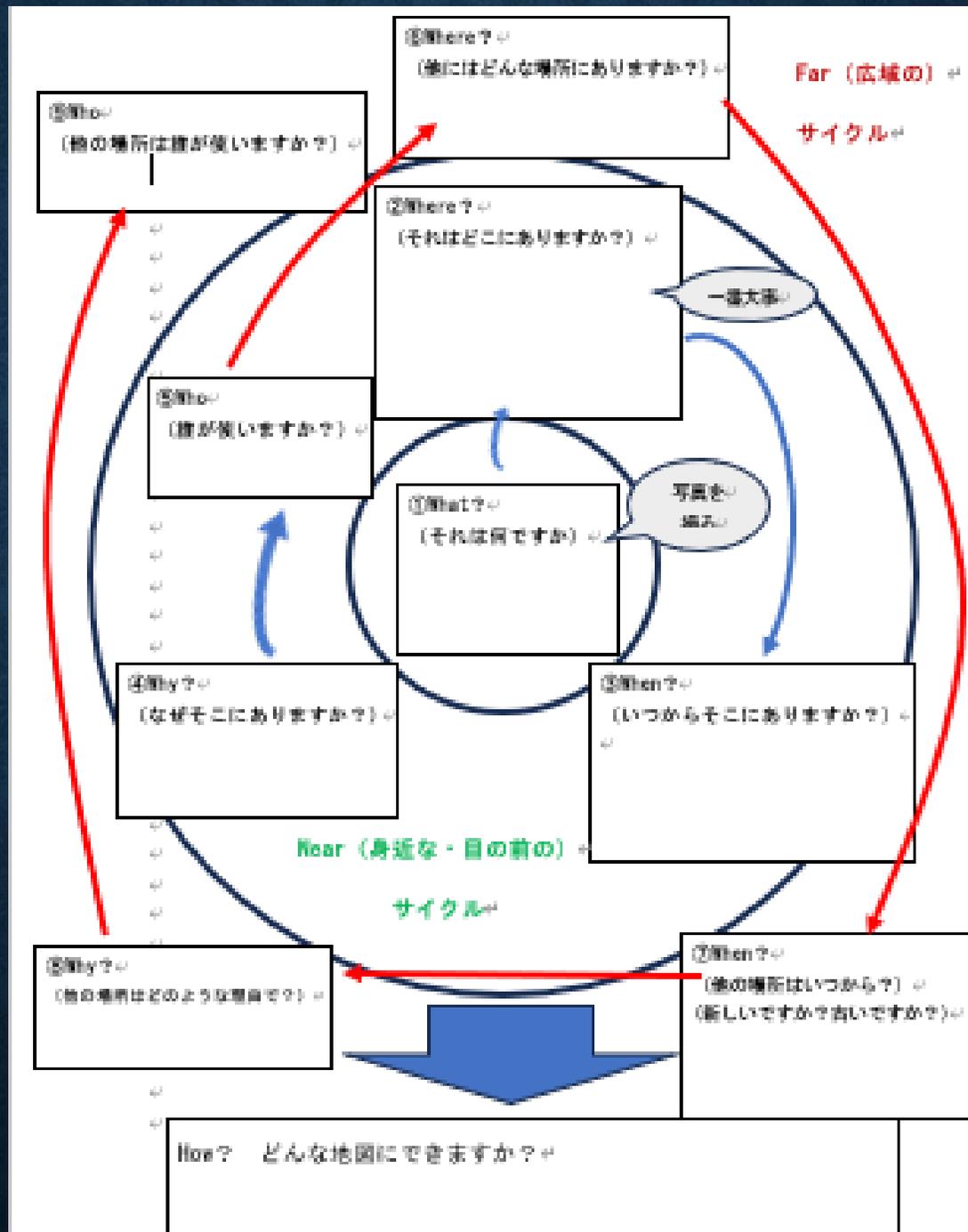
材料

景観写真（自分で撮ったもの）

各種地図

ワークシート（あれば）

ワークシート



(1) ワークシートの中央に写真を置き 何を撮ったものか説明できるようにする

①What
これは何ですか？



写真を
置く

(2) 5W1Hを考え それを伝える地図で包む

⑤ Who?

誰のためにあるのですか？

② Where

どこにあるのですか？

① What

これは何ですか？

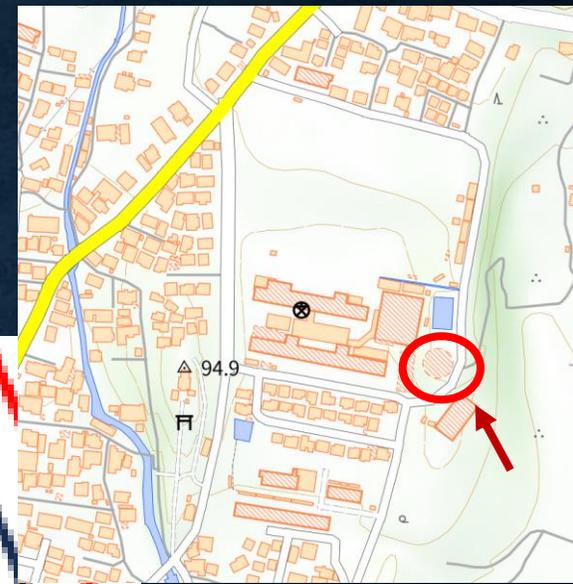
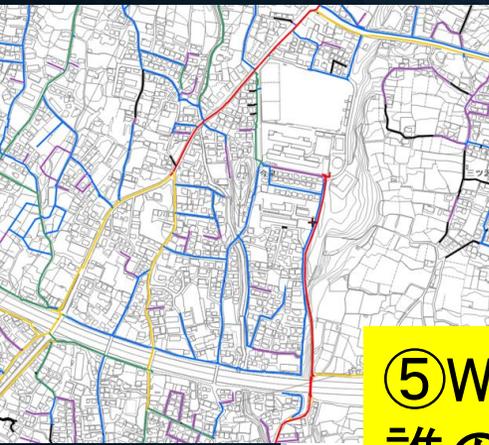
写真を
撮る。

④ Why?

なぜそこにあるのですか？

③ When?

いつからそこにあるのですか？



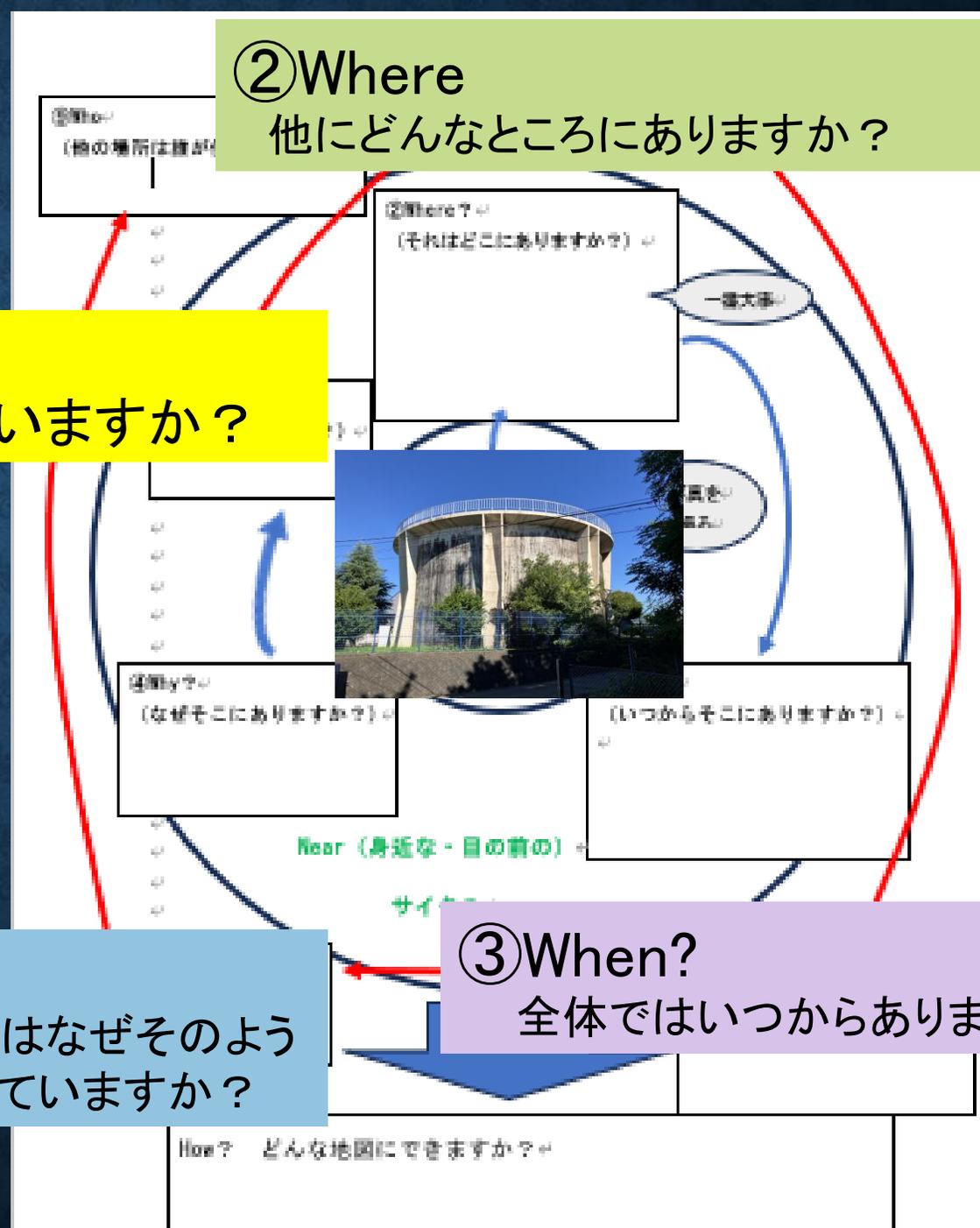
(3)より広い範囲で もう一周してみる

⑤Who?
誰にむけて行われていますか？

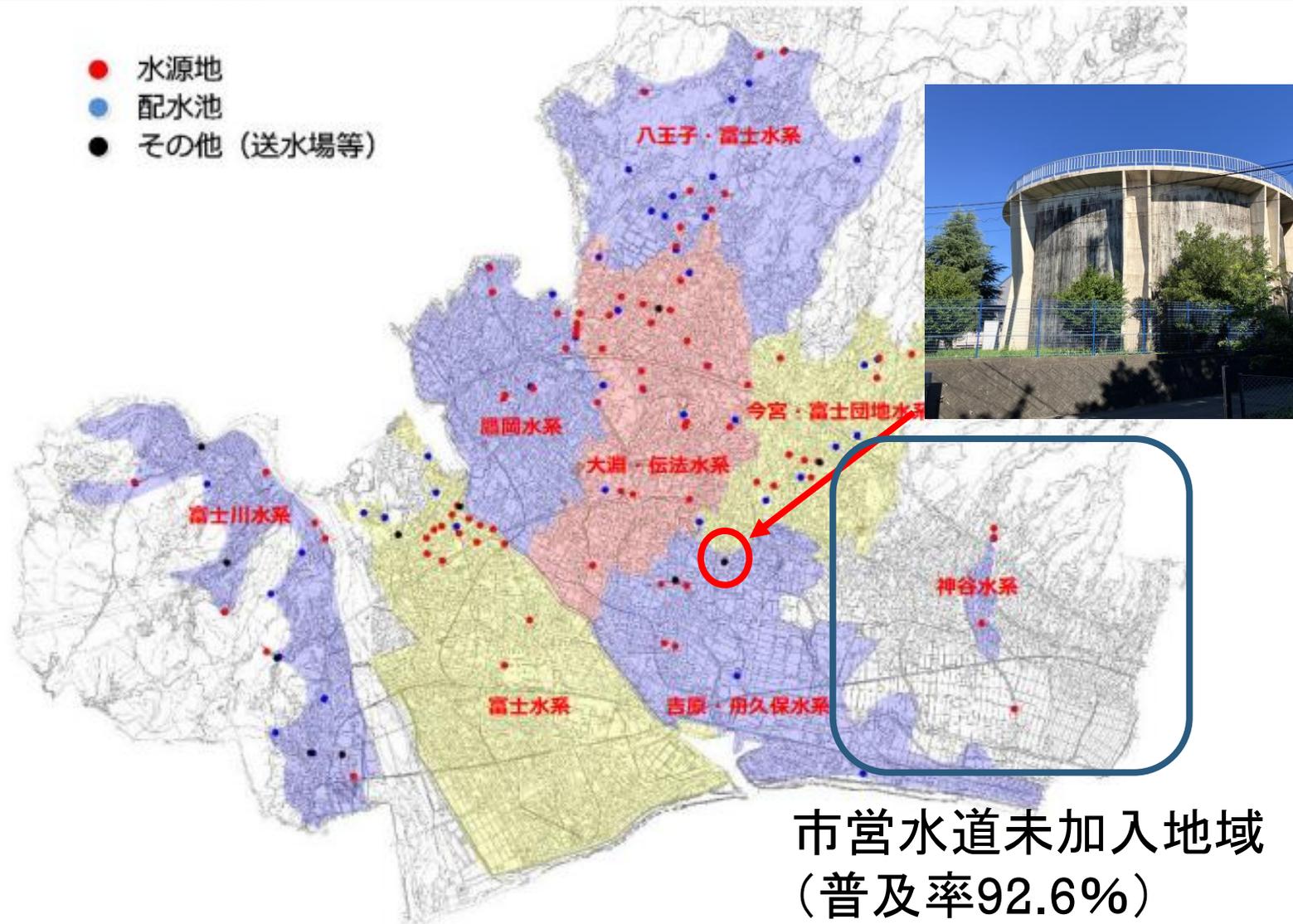
わかりません！

④Why?
他のところはなぜそのような形をとっていますか？

③When?
全体ではいつからありますか？



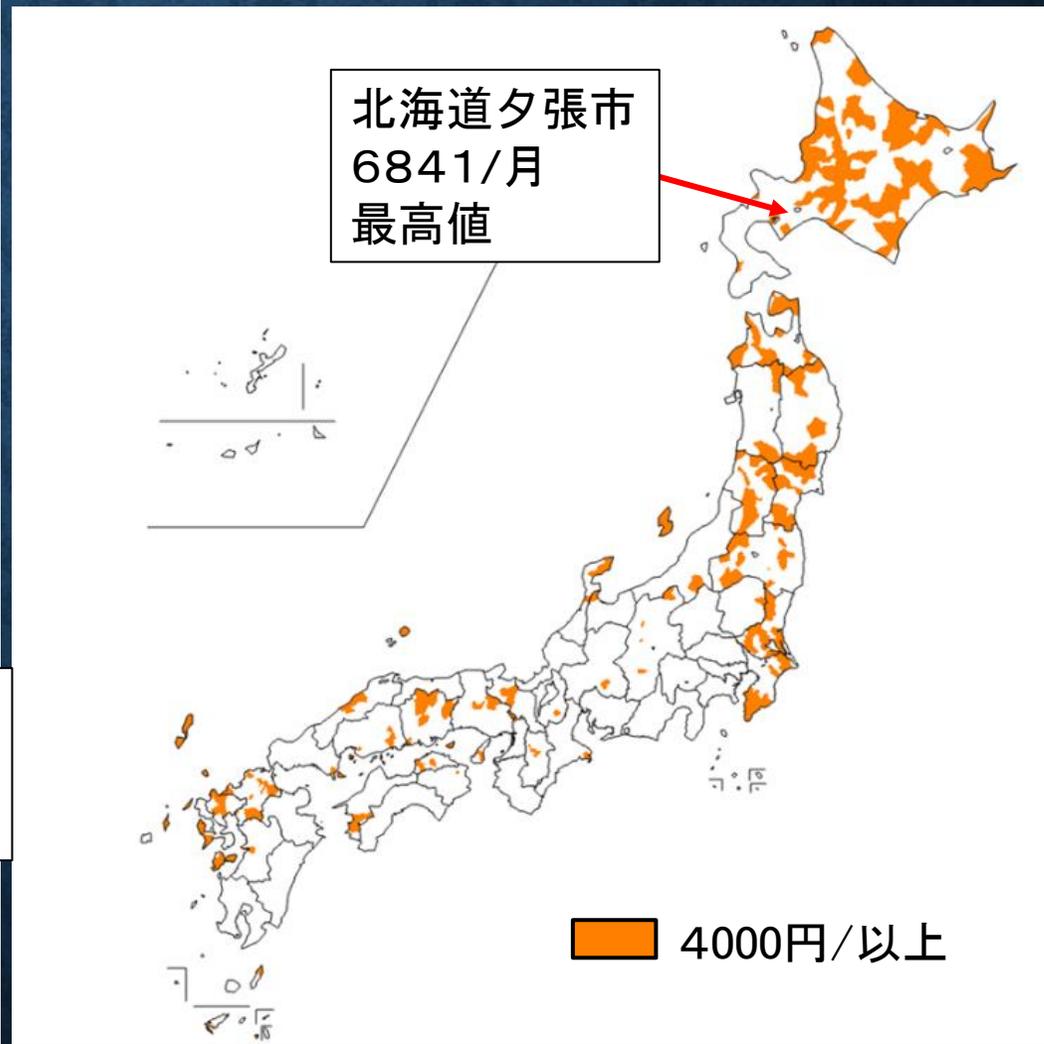
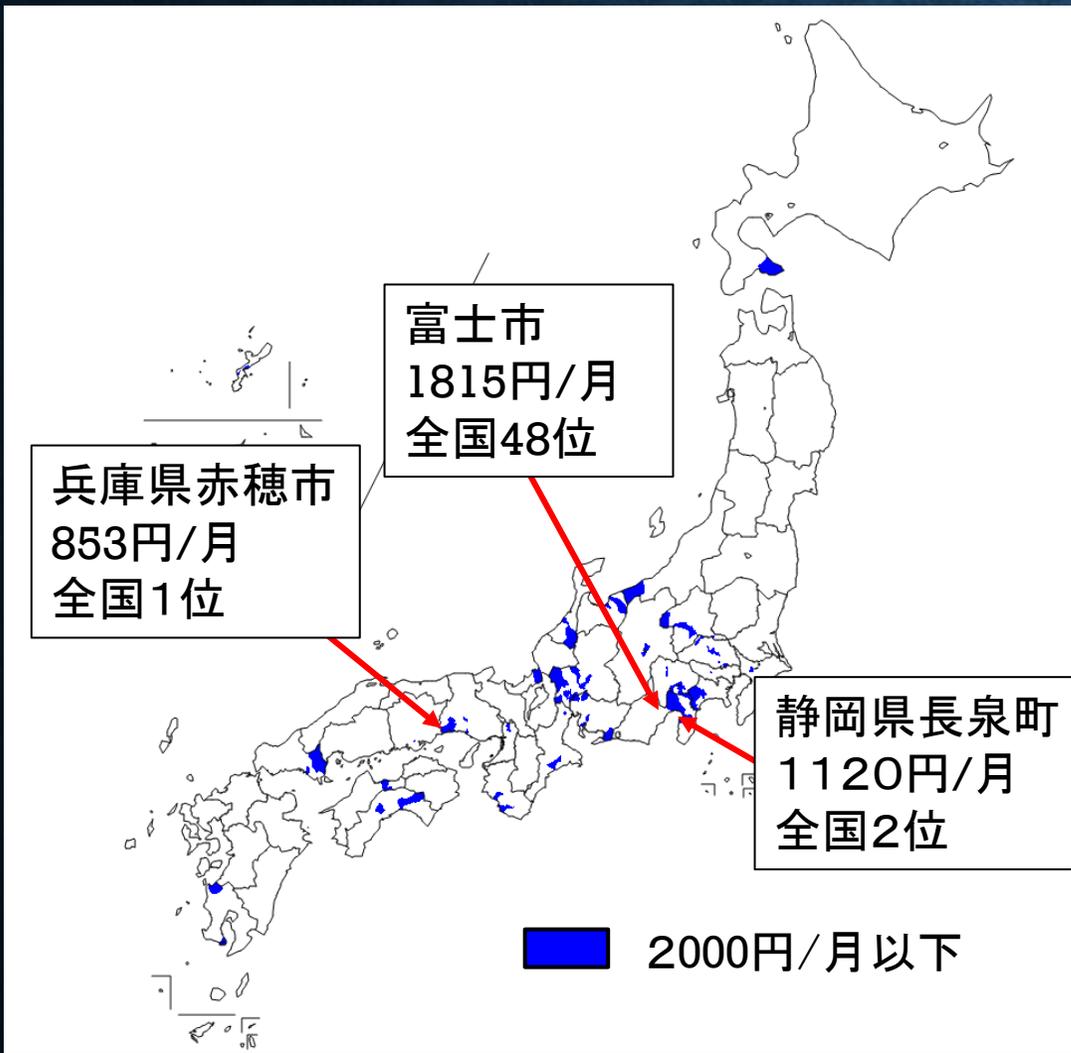
富士市上水道水系図



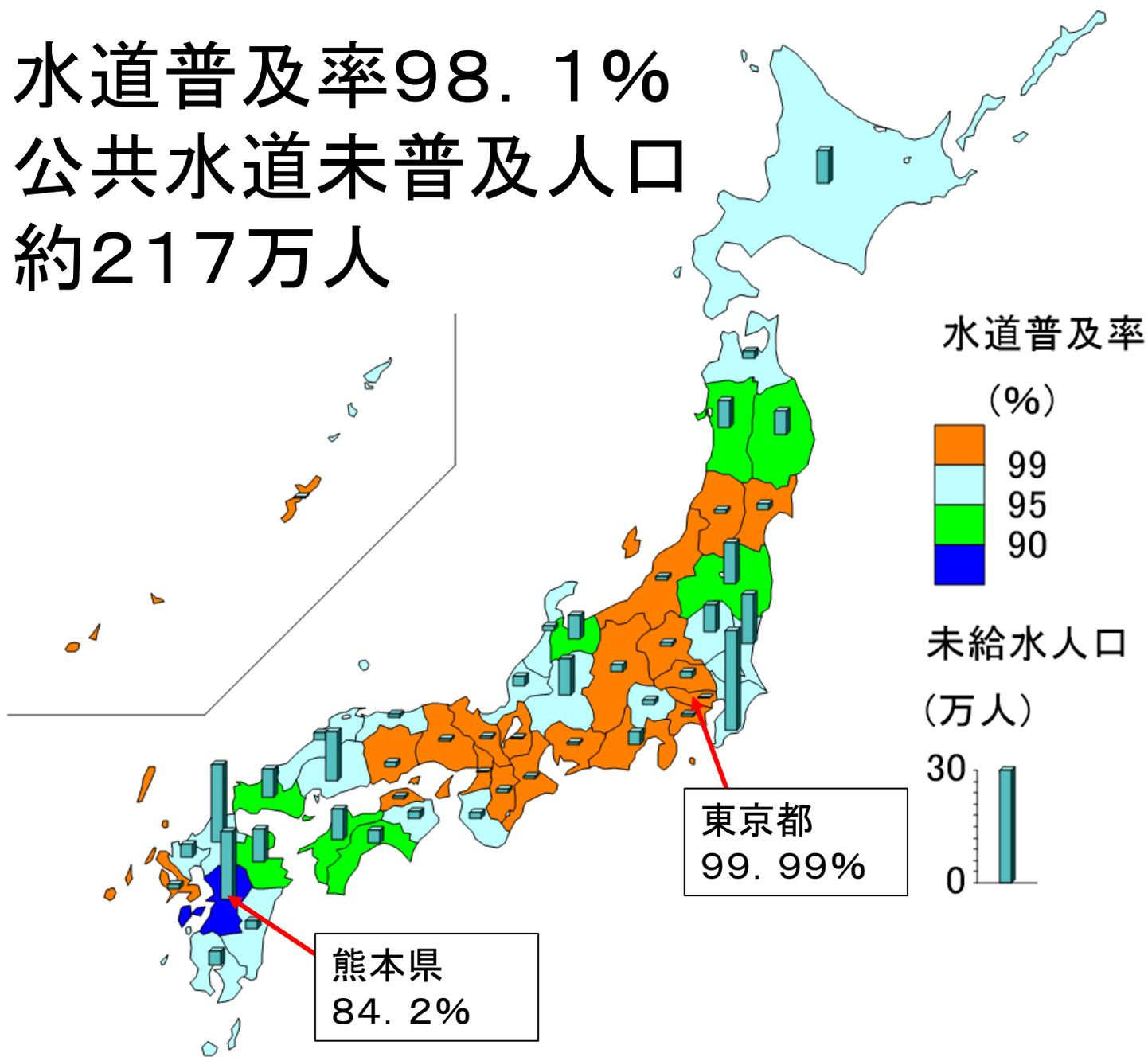
市営水道未加入地域
(普及率92.6%)
自主水源17,582人

図 2-2 水系図

更にもう1周(参考)



水道普及率98.1%
公共水道未普及人口
約217万人







ちらし地図

材料

住所録

表計算アプリ

地理院地図

地理院地図の住所録⇒地図表示機能 を使って分布図を描く

アイコン: ● 拡大率: 1.0▼ [協力: 東大CSIS](#)

住所の列を選択してください。

全95件中5件表示

住所
所在地 ▼
下田市蓮台寺152
下田市蓮台寺152
南伊豆町石井58
松崎町桜田188
東伊豆町稲取3012-2

上記の内容で読み開始



異なる分布図同士を重ね合わせて 関連性を述べる



▲ 幼稚園

■ 保育園



マツプピクルス

材料

GISアプリ「全国Q地図」

描き込みができる地理院地図と旧版地形図 を使って背景地図を行き来する



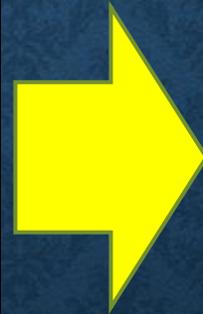
実習の流れ

とても
重要

操作説明
(サンプルの作成)



各自作業
(ラールに1時間)



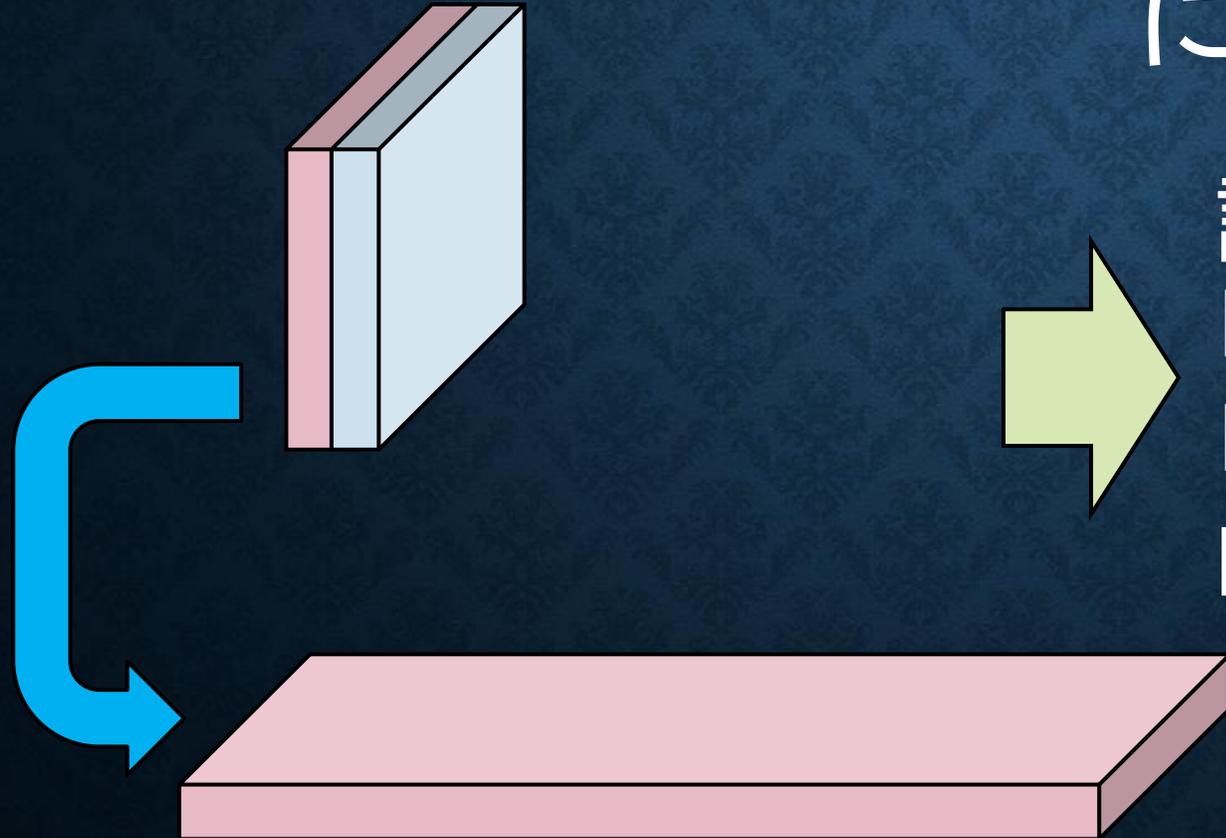
相互試食
レポート作成

3 課題と展望



課題

地域調査の実習……GISを使った作図実習
に特化している



課題探究に入る前に
「技能の整理」
「問題認識のすり合わせ」の
時間が必要

課題

「わからない」時のフォロー

単品の作業をしているときに生じた疑問を「聞き取り調査」につなげられるか？

その「興味・関心」を「総合探究」まで維持できるか？

課題

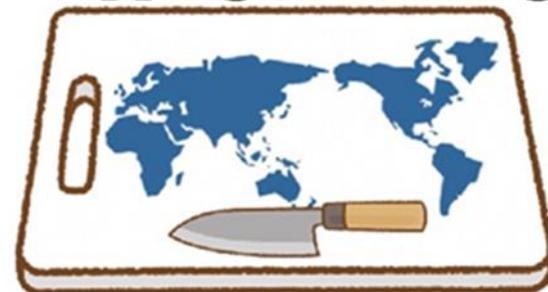
「フルコース」に時間を取れるか？

学年末(3学期)にどれだけの時間を
確保できるのか？

「自然環境と防災」は前倒しでよいのでは？

3 結語

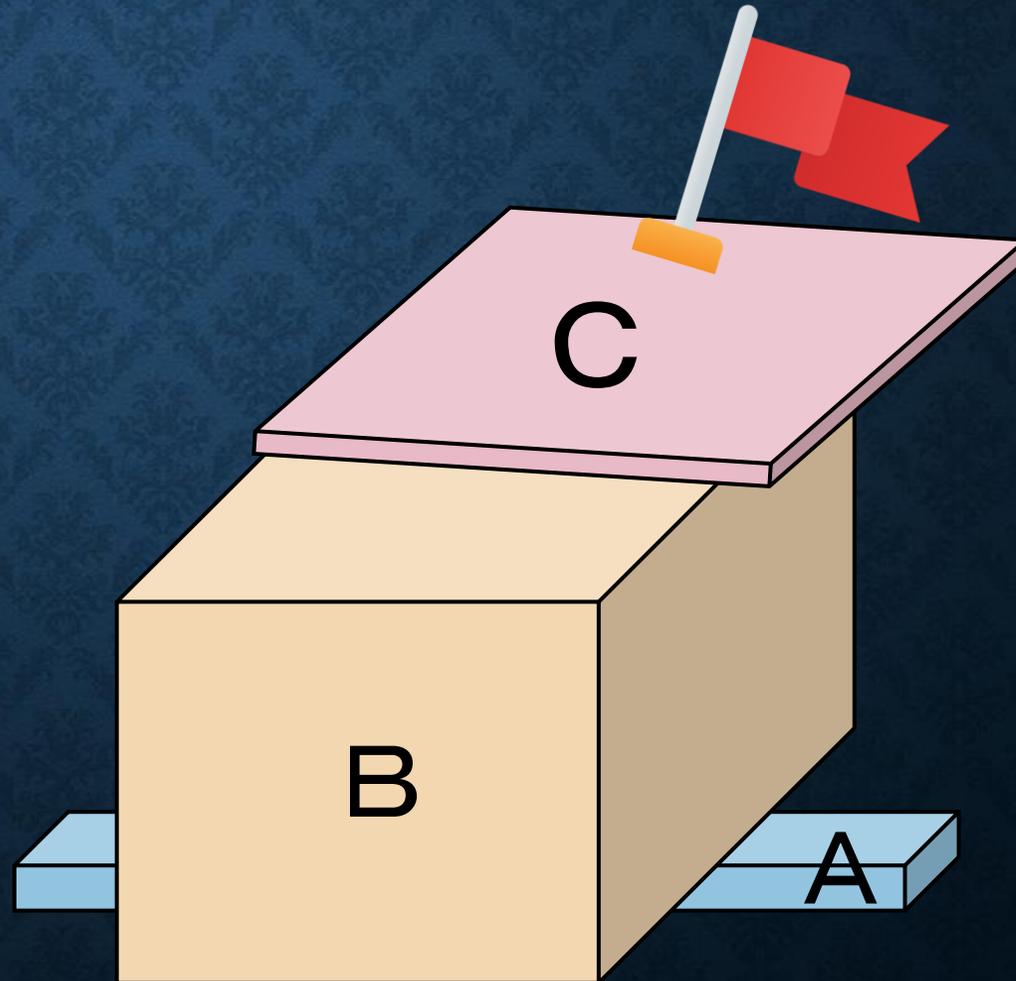
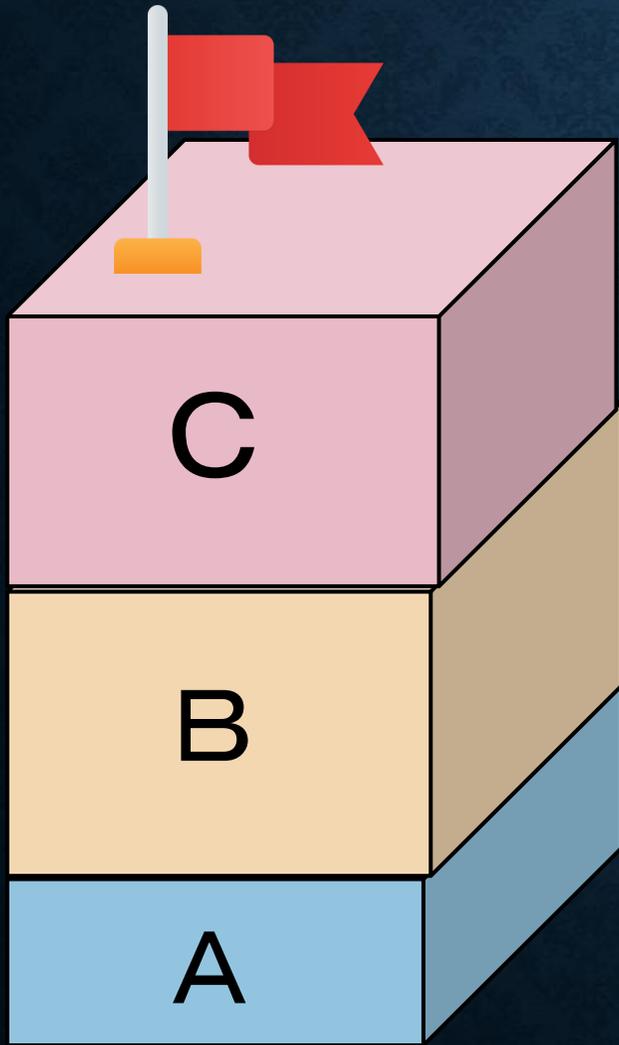
Mapping is Cooking



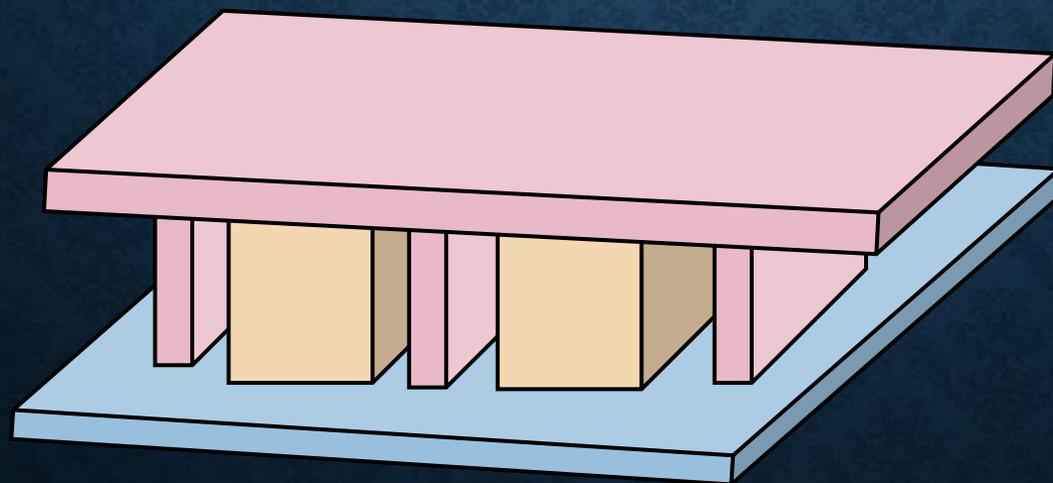
Itochiri est.1996

形骸化する「地理総合」の3单元

(特にC「持続可能な地域」)



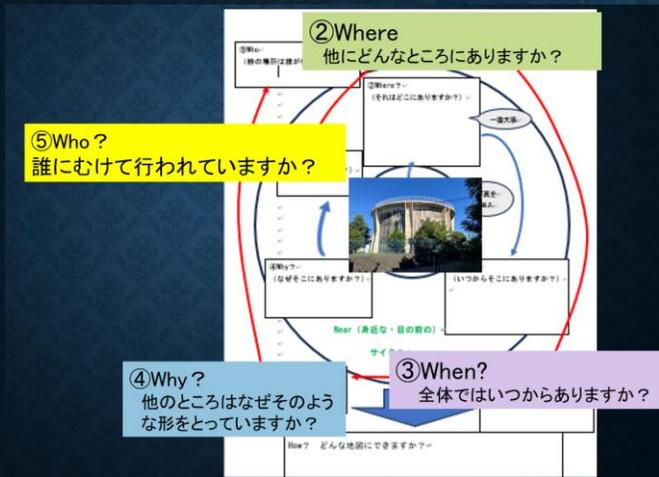
現実的な運用・・・単品×コースによる通年実習化 (GISの利用を含む)



A

単品の調理実習

「身近な地域を事例としたGIS実習」の要素が強い



地理総合の学習の集大成としての 「持続可能な地域とわたしたち」単元



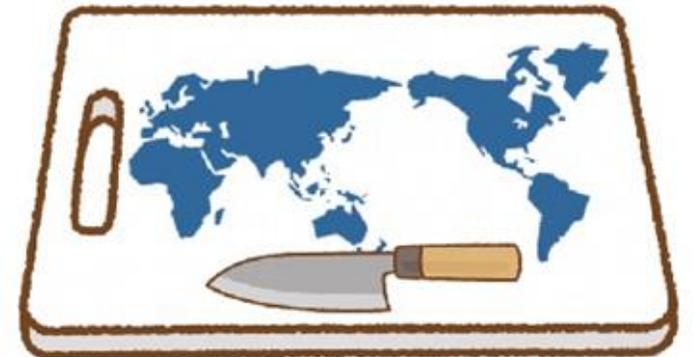
時間数の確保
課題の設定
探究・発表スタイル



どうあるべきか？
活発な議論を期待

ありがとうございました

Mapping is Cooking



Itochiri est.1996